



Press Release

ロングリーチグループ

株式会社オーシーシーの株式譲受につき、産業再生機構と合意

【東京、香港 2006年8月8日】独立系投資会社ロングリーチグループは本日、株式会社産業再生機構（以下、「機構」）の処分決定を受け、機構が保有する株式会社オーシーシー（以下、「オーシーシー」）の株式譲受に合意しましたので、お知らせいたします。

オーシーシーは、通信用海底ケーブルをはじめとする特殊ケーブルシステム、陸上用ケーブルならびに情報通信機器の製造販売を手掛けています。深海の高水圧環境で高い耐久性と信頼性が求められる海底ケーブル分野での世界有数の製造ノウハウを基盤に、海底と陸上の両通信分野で特色あるケーブルシステムを提供しています。

ロングリーチグループは、今後の日本産業の発展を担う企業の再生および成長を中長期的視点で支援する事業支援投資会社です。とりわけ、産業テクノロジー分野の製造業において多くの経験を有しており、投資先企業のパートナーとなり新たな事業拡大と収益力の向上を目指しています。株式譲受後は、オーシーシーのファイナンシャルパートナーとして、今後の成長に必要な資金やグローバルな事業戦略ノウハウなどの経営資源を提供しながら、現経営陣及び従業員の皆様と共にさらなる成長を目指します。オーシーシーは、その優れた開発・生産技術力とお客様との信頼関係を基盤に、世界の通信インフラを支えるリーディング企業としてさらに発展していくと確信しています。


今回の株式取得は、Longreach Capital Partners 1, L.P.等が保有し、株式会社ロングリーチグループに管理委託する「株式会社オーシーシー・ホールディングス」による株式公開買付により行われ、本年9月末までに完了する予定です。

###

報道関係者からのお問い合わせ

ギャビン・アンダーソン（服部、和田）

03-5404-0640



株式会社オーシーシーについて

会社設立は 1935 年。本社は横浜市西区みなとみらい。通信用海底ケーブルや陸上用ケーブルならびに情報通信機器の製造・販売を行っている。深海の高水圧環境で高い耐久性と信頼性が求められる海底ケーブル分野での世界有数の製造ノウハウを基盤に、海底と陸上の両通信分野で特色あるケーブルシステムを提供している。従業員数は約 280 名。詳細については、<http://www.occ.ne.jp> をご参照のこと。

ロングリーチグループについて

ロングリーチグループは、日本及びアジアにおける独自の戦略的プライベート・エクイティ投資を目的に 2003 年 10 月に設立された事業支援投資会社です。今後の日本産業の発展を担う企業の再生およびグローバルな事業展開を中長期な戦略的な視点から支援します。グローバルなネットワークに加え業界知識と地域に根ざした人脈および案件遂行能力を活かし、付加価値の高い投資案件を実現していきます。

ロングリーチグループには、ケイマン諸島を拠点とする投資ファンド、香港拠点のロングリーチグループ・リミテッド、そして、東京拠点の株式会社ロングリーチグループが含まれています。株式会社ロングリーチグループは、日本およびアジア市場に関するデータや情報を収集し、投資ファンドが投資案件の発掘調査を行うためのサポートをしています。

2006 年 4 月には、第 1 号ファンドとなる Longreach Capital Partners 1 及び Longreach Capital Partners Ireland 1(以下、ファンド)の設定を完了しました。ファンド総額は募集上限の 825 億円(750 百万米ドル相当。米ドル受入時は ¥/\$ = 110 で換算)となりました。国内外大手機関投資家及び企業からの出資に加え、共同投資の仕組みを活用することにより、日本および北アジア地域における大型バイアウト案件への投資を行います。